

令和7年度「歴史総合」シラバス

科目名	必修・選択	単位数	類型
歴史総合	必修	2	普通
国際関係史（歴史総合）	必修	2	G C
教科書 副教材等	教科書：わたしたちの歴史 日本から世界へ（山川出版社） 副教材：「わたしたちの歴史 日本から世界へ ノート」 副教材：「歴史総合図説 シンフォニア」（帝国書院）		

1 学習目標

- ・歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、国際社会を主体的に生きるために必要な資質・能力を育成することを目指す。

2 学習概要

- ・近現代の歴史の変化に関わる事柄について、世界と其中的の日本を広い視点から捉え、現代の様々な課題の形成に関わる近現代の歴史を理解していきます。
- ・いろいろな資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめる力を身に付けるようにします。
- ・学習内容や調べた内容を多面的・多角的に考察したり、考察したことを説明したり、それらを基に議論したりします。

3 学習方法

- ・受け身にならないためにも事前に教科書を一通り読んで、問題意識を持って授業に望んでください。
- ・問題意識を持つためにも、質問することを恐れない。疑問があったら積極的に質問したり、Chromebookなどを使用して調べてください。
- ・副教材のノートや授業のメモををしっかりとまとめてください。
- ・日頃の「リアクションシート」をおろそかにせず、提出を必ずしてください。
- ・定期試験前には歴史用語はもちろん、その意味もよく理解して覚えてください。

4 試験と評価について

(1) 評価方法

「知識・技能 (①)」、「思考力・判断力・表現力 (②)」、「学びに向かう力 (③)」の3観点で評価を行います。

具体的な評価方法以下の通りです。

「知識・技能 (①)」：定期試験・小テストなど

「思考力・判断力・表現力 (②)」：授業プリント・リアクションシート・発表など

「学びに向かう力 (③)」：ノート・提出物・授業態度・リアクションシート・発表など。

上記の項目を勘案し、単元及び学期、学年の評価とします。

(2) 評価規準

	知識・技能 (①)	思考力・判断力・表現力 (②)	学びに向かう力 (③)
評価規準	近現代の歴史の変化に関わる事柄について、広い視野から捉え、近現代の歴史を理解できる。 諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめられる。	学習した内容や調べた内容を多面的・多角的に考察する。またその考察したことを説明したり、それらを基に議論したりすることができる。	現在と過去の関連性を認識し、現代の世界における諸課題への関心を深めている。また、諸課題を主体的に解決しようと取り組むことができる。

5 学習計画

学期	単元名(指導項目等)	定期考査等
一 学 期	第1部 近代化と私たち 1 18世紀の世界とアジア 2 産業革命 3 アヘン戦争と日本 4 日本の開国 5 日本開国期の国際情勢 6 開国後の日本社会 7 市民革命と国民統合 8 明治維新 9 富国強兵と文明開化 10 日本の明治初期の外交 11 大日本帝国憲法の制定 12 日本の産業革命と日清戦争 13 帝国主義 14 日露戦争と韓国併合 第2部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 1 大衆運動の芽ばえ 2 第一次世界大戦 3 第一次世界大戦と日本 4 ロシア革命とその影響	中間考査 期末考査 ノート提出
二 学 期	5 社会運動の広がり 6 国際協調 7 アジアの民族運動 8 大量生産・ 大量消費社会 9 世界恐慌 10 独裁勢力の台頭 11 日本のアジア進出 12 第二次世界大戦 13 第二次世界大戦と日本 14 第二次世界大戦の終結 15 国際戦後秩序 16 冷戦の始まり 17 日本の戦後改革と日本国憲法 18 日本の独立 第3部 グローバル化と私たち 1 第三世界の登場 2 冷戦の固定化と「雪どけ」 3 冷戦の展開 4 55年体制と安保闘争 5 高度経済成長の光と影	中間考査 期末考査 ノート提出
三 学 期	6 ベトナム戦争とアメリカ 7 経済構造の変化 8 日本の経済大国化 9 アジアの経済成長 10 社会主義の停滞と新自由主義 11 冷戦の終結 12 冷戦後の地域紛争 13 地域統合 14 現代世界の諸課題 15 日本の諸課題	学年末考査 ノート提出